

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	保健福祉部
	課室名	生活支援課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）

基本施策ID	基本施策名
1 - 2 - 2	子育てをみんなで支え、子どもが健やかに育つ環境をつくる
重点施策ID	重点施策名
- - -	

2. 事業名等

事業名	地域子育てサポート事業	事業区分	②	①新規 ②継続 ③その他（ ）
細事業名		実施形態	①	①毎年 ②隔年 ③その他（ ）
事業主体	市		①	①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④	④その他（ ）
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	豊後大野市地域子育てサポート事業実施要綱	
各種の計画への反映（＝根拠計画）	豊後大野市次世代育成支援対策地域行動計画	事業ID	14009	

3. 事業の内容等

事業の背景 「次世代育成支援対策推進法」に基づき、合併前の旧7町村がそれぞれの町村ごとに平成17年3月に策定した行動計画を見直し、平成17年12月に「豊後大野市キラキラ子どもプラン（次世代育成支援地域行動計画）」に本事業を取り込み計画書を策定した。計画期間は平成17年度から5年間で、その後見直しを行うこととなっている。		補助事業	名称	国 県 その他
			補助率	
		起債の種類	①	
			②	
事業の目的及び対象 【目的】 少子化、核家族化に伴う家族形態の変化や、近隣との人間関係の希薄化により、家庭や地域における子育て支援機能が低下しているため、その解消として地域の子育て支援機能の充実を図る。 【対象】 子育て中の保護者及び支援者		事業概要 子育ての手助けをしてほしい人（よろしく会員）と子育てのお手伝いができる人（まかせて会員）が相互援助活動を行う会員組織。緊急時、一時的に子どもを預かってくれる人がいないときや保護者の急な残業や急病等に対応。7時～19時1時間600円（日・祝・病児は1時間700円） 前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容		

4. 予算・決算の状況

（単位：千円）

財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	278	176	122	106	106	106
	計	278	176	122	106	106	106
決 算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	241	118	101			
	計	241	118	101			

5. 実績及び達成目標等

過去3年間の事業実績と課題

平成17年度	平成18年度	平成19年度	課 題
【実績】 まかせて会員 9人 よろしく会員 11人 利用実績 無	【実績】 まかせて会員 9人 よろしく会員 11人 利用実績 無	【実績】 まかせて会員 9人 よろしく会員 11人 利用実績 1件（自宅）	サービスの受け皿となるまかせて会員を増やすため、広報と研修を行う。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値

活動指標	組織件数						
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。						
成果指標	利用延人数						単 位 件
年 度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備 考
種 別	活動件数	活動件数	活動件数	活動件数	活動件数	活動件数	
目標値			5	15	20	25	
実績値			1				
達成率			20.0%				
備 考				増加中			

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	保健福祉部
	課室名	生活支援課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	緊急時に一時的に子どもを預かる支援体制の構築が必要であるため。					
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	2	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	現在、民間のサービス提供体制が薄いため、部分的に行政が支援する必要があるため					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	2	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	サービス内容からも民間等に委託することの方が効率的であり、運用面でも効果があると思われるが、現在その受け皿が無いため、今後外部委託等を可能にするための育成支援が必要と考える。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	緊急時に一時的に子どもを預かる支援体制を整備することにより、子育て家庭の支援に効果がある。					
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	本事業にかかる費用は、保険代（サービス提供会員傷害保険・賠償責任保険・依頼子供傷害保険）研修旅費・事務費のみであるため。					
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	他業務との兼務で行っているため。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	子育て家庭の支援に効果があるため、事業の必要性から今後は民間の育成支援に力を入れ、将来的には民間移行を検討する必要がある。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
○事業の流れ（いきさつ） 平成15年10月に県のモデル町村として、緒方町地域子育てサポート事業がスタートした。 平成16年に3件の利用があっただけであるが、今後は必要になってくる事業であるとの協議から、豊後大野市地域子育てサポート事業として継続した。 平成19年4月に事務局を生活支援課内に移し、20年度現在まかせて会員13人・よろしく会員18人となり、活動件数が急増中である。 ○竹田市子育てサポートセンター「ゆめいかだ」について NPO法人「夢苞」に委託 委託料200万円（ソフト交付金100万円・市100万円） 平成19年度会員数158人（よろしく会員96人・まかせて会員58人・どちらも会員4人） 平成19年度活動件数164件 事務所は放課後児童クラブ・つどいの広場とともに市立南部幼稚園内に設置						
部 長	課 長	班 長	担当者			
			内線 2143 E-mail @bungo-ohno.jp			